2

中央物價統制協力會議第五回委員會に於ける

大藏次官挨拶要領

一六、三、二八

御挨拶旁々一言申述べまして皆様の御協力を御願ひ致したいと存じます。

物價の問題が戰時財政經濟諸政策の運行に當りまして、極めて重要であり且又非常に難しい問題であることは、今更申上げる迄もないのでありますが、物價政策が官民一致の協力に依つて始めて其の實效を擧げることが出來ると言ふことも亦議論の餘地のない處であります。此の意味に於きまして、有力なる民間諸團體を以て構成せられて居る本協力會議が中央地方を通じて統一ある組織を持ち、政府の施策に、

二六

また其の遂行に圓滑なる種々貢獻せられて居ることは誠に感謝に堪えない處でありまして、今後益々其の發展と御活動とを切望する次第であります。

御承知の如く本年第七十六回帝國議會を通過致しました昭和十六年度の一般會計豫算は、本豫算及追加豫算を合せまして、歳入歳出共に約七十九億九千五百萬圓でありまして、之を昭和十五年度豫算約六十一億七千三百萬圓に比較致しますると、十八億二千百萬圓の增加となるのであります。又臨時軍事費特別會計に付きましては、一般會計の樣な劃然たる年度の區分はないのでありますが其の內容に從ひまして、本議會で成立した第一次の追加豫算十億圓を昭和十五年度、第二次の追加豫算〃四十八億八千萬圓を昭和十六年度として計算致しますると、

昭和十六年度の一般會計と臨時軍事費の合計額は、約百二十八億七千五百萬圓（臨軍への繰入六億七千萬圓を含む）となるのでありまして、十五年度の合計額約百十六億三千三百萬圓に比較致しまして、實に約十二億四千百萬圓の增加となるのであります。而して之に伴ふ公債の發行豫定額は、各特別會計の發行分をも併せますると、七十五億七千四百萬圓となり、十五年度の七十億二千四百萬圓に比較致しますと五億五千萬圓の增加となるのであります。

勿論右の豫算の編成に當つては、資金と物資との調和に充分意を須ひまして、豫算に伴ふ重要物資に付きましては、出來る限り物資需給計畫に適合せしむることに努めたのであります。併しながら、最近の

如き國際情勢に於きましては、我が國の物資供給にも相當影響があるのでありまして、一般に物資の需給は一層窮屈となることを覺悟せなければなりません。斯る現狀に於きまして、前述の如き、尨大なる豫算を實行致しますことは、物價に及ぼす影響の極めて重大なるものがあることを痛感してゐるのであります。物價政策の要諦が、物と金とのバランスを得ることにあることは申す迄もありません。從ひまして、右の如き豫算の實行に依つて放出せられた資金の收收に付ては、政府としても萬全の策を講じて參る心算で種々努力をして居るのでありますが、同時に國民の購買力を抑制する爲にも尙格段の努力を拂はねばならぬのであります。尙本年は七十五億圓の公債の全額消化を目標として一

路邁進する決心で居るのでありまして、之が爲にも、資金の蓄積竝に民間購買力の收收は是非とも必要なのであります。先般政府は公債七十五億圓の消化及生産擴充資金六十億圓を賄ふ爲に、本年度の貯蓄目標額を百三十五億圓と定めたのでありますが、昨今の資金蓄積狀況に顧みますると、之が達成の爲には相當の努力を必要とするものと考へられるのであります。之に付きましては、資金の方面から其の收收を圖りますると同時に、物資の方面からも其の消費を規正し〳〵餘剩購買力の蓄積に努めることが必要なのでありまして、特に一般生活必需品に對する需要を抑へ、之を貯蓄に向けしむることは物價對策の上からも、公債消化源の涵養から言つても、此の際最も肝要であると存ずる

次第であります。本協力會議に於かれましては、既に物資の配給並に消費規正に付て各般の研究乃至協力を賜はつて居るのでありますが、今後は更に之と國民貯蓄との關係をも充分に考慮せられ、消費の節約に關しましても、一般の御協力を願ひたいと切に希望するのであります。

向物價に對する根本方針に付きましては、從來とり來りました低物價維持の方針を、今後も引續き行はんとするものであります。適正價格といふ言葉が用ひられます爲、近時政府の此の方針が變更せられたかの如き言を爲す向もあるやに伺ふのでありますが、現下の情勢に鑑みまする時は、低物價の維持は絶對に之を必要とするのであります。

唯低物價政策維持の爲、必要なる生産擴充に支障を來す虞がある場合には、補償金或は助成金に依つて之を補ふといふ方針を採つて居るのでありまして、今後に於きましても、此の方針をとつて行く心算であります。

終りに臨みまして、時局愈々重大なる折柄、益々活潑なる御活動を續けられ、官民一體となり邦家の爲奉公の誠を盡されんことを切望する次第であります。